

品川区介護保険事業計画策定に係るパブリックコメントで寄せられた内容および区の考え方について

主な意見の内容	区の考え方
<p>在宅での看取り対応について。高齢者の終末期に前向きに対応するため、充実させてほしい。また、在宅だけではなく、施設の看取りへの対応（職員教育）もプロジェクトの中に入れてほしい。</p>	<p>医療機関と介護事業所などが連携して、人生の最終段階における本人や家族の意思決定を支援するケアマネジメントを行い、在宅や施設での療養を選択した場合のサービス提供体制を強化するとともに、ケアの実践について学習する機会の提供を推進します。</p>
<p>できるだけ住み慣れた我が家で暮らすには、身近な支えが必要であり、敷居の高い遠くの区役所まで出掛けなくても、徒歩圏内に気軽に誰でも何でも相談できる場があればどうか。</p>	<p>様々な困りごとや不安なことを相談できる窓口として、平成 29 年度には区内 13 地区の全地域センターに「支え愛・ほっとステーション」を設置しました。在宅介護支援センターとともに、引き続き地域の皆さんを支えるしくみをさらに充実していきます。</p>
<p>介護サービス事業所やケアマネジャーによって、知識量などの差を感じるため、誰でもどこのケアマネジャーでも等しく必要なサービスを受けられるよう、区として指導してほしい。</p>	<p>品川介護福祉専門学校やNPO法人などと連携し、様々な研修事業を実施しているところです。また、ケアプラン点検や実地指導・集団指導を通し、必要な指導や助言を行い、ケアマネジメントやサービスの質の一層の向上に努めていきます。</p>
<p>品川区の高齢者の現状について、独居高齢者のみならず、老夫婦のみ（近居親族なし）、高齢の親を独身の子どもが介護など、多様な状況の把握・分析と問題提起、そして対策の構築が必要ではないか。</p>	<p>29 年度には「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を行うなど、区では高齢者に関する様々な調査を実施しています。引き続き多様化するニーズの把握・分析に努め、必要な事業の推進を図っていきます。</p>